

重点戦略 「安全、信頼の向上」



企業理念の実現



<グループビジョン>

「成長に挑戦する西鉄グループ」

(sub vision) ~ 安全とお客様満足(CS)の向上、企業価値の向上 ~

~ 私たち一人ひとりの成長と挑戦により実現を目指します ~

安全、信頼の向上

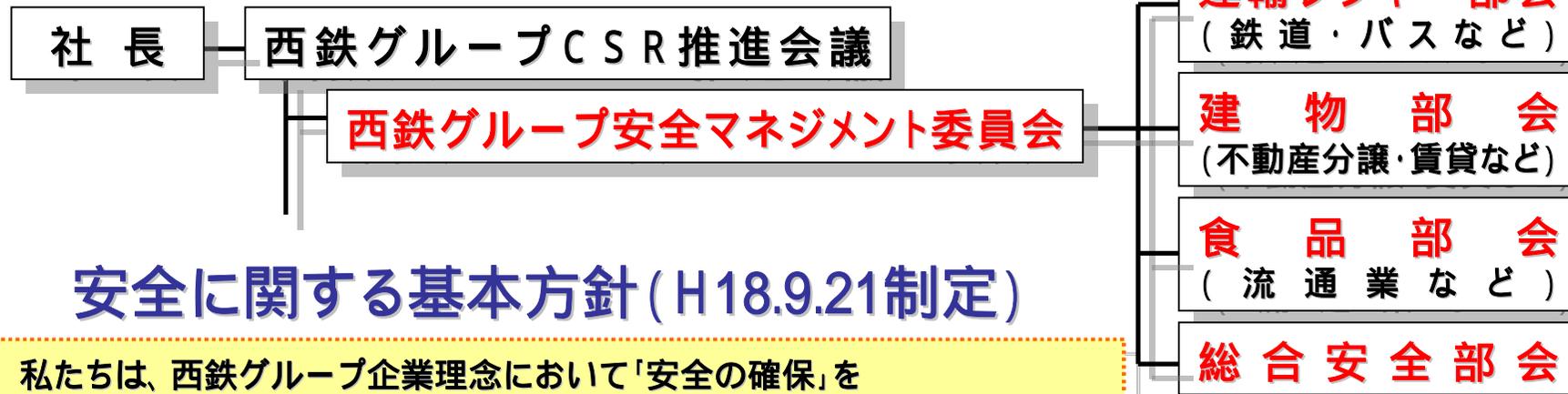
企業価値の向上

地域や社会との共生

「安全、信頼の向上」



安全マネジメント体制(H18.7)



安全に関する基本方針(H18.9.21制定)

私たちは、西鉄グループ企業理念において「安全の確保」を第一の使命としています。

私たち一人ひとりが、自らの責任と役割を自覚し、お客様からの信頼に応え、社会的責務を果たしてまいります。

- (1) 安全を何より最優先する組織・風土の構築
- (2) 安全マネジメント体制の確立と継続的改善
- (3) 安全を支える従業員の能力向上と健康の確保
- (4) お客様の安全を第一に考えた商品・サービスの提供
- (5) お客様と安全に関するコミュニケーションの推進
- (6) 基本方針に基づく施策の確実な実施と法令の遵守

以上の方針に基づき、「安全の確保」に向けた不断の努力を重ねてまいります。

「安全、信頼の向上」

1、「安全性の強化」

安全マネジメントの推進

- ・ PDCAサイクル実践
- ・ 安全最優先意識の浸透、徹底
- ・ 安全情報の収集、共有化、活用
(ヒヤリハット、事故の芽情報 他)

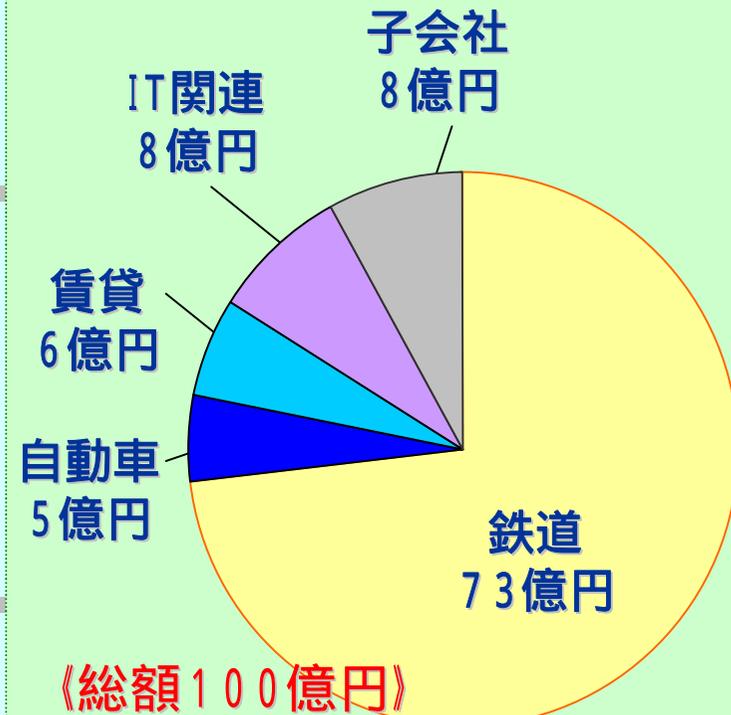
設備面での安全対策

- ・ 鉄道構造物の耐震強化、橋梁補強
連続立体交差事業 等
- ・ バスでの「ドライブレコーダー」導入、
「デジタルタコグラフ」の導入拡大
- ・ オフィスビル、商業施設の耐震強化 等

安全対策投資

- ・ 100億円(中計3ヵ年合計)

安全対策投資の内訳



「安全、信頼の向上」



2、「お客様満足(CS)の向上」

お客様窓口の統一、グループ内の情報還流のための仕組みづくり

- ・ 広聴機能の強化
- ・ 事業活動への積極的活用

“お客様の問題解決”を視点とした取り組みの強化

重点戦略 「企業価値の向上」



企業理念の実現



<グループビジョン>

「成長に挑戦する西鉄グループ」

(sub vision) ~ 安全とお客様満足(CS)の向上、企業価値の向上 ~

~ 私たち一人ひとりの成長と挑戦により実現を目指します ~

安全、信頼の向上

企業価値の向上

地域や社会との共生

「企業価値の向上」



1、重点分野

- (1) 国際物流事業及び流通業の規模の拡大
- (2) 不動産部門への積極投資による安定収益の拡大
- (3) バス事業の収支改善

「企業価値の向上」



2、具体策

- (1) 新たな事業展開と事業の裾野拡大
- (2) 沿線価値の向上
- (3) 収益性・資産効率の向上
- (4) 変革力のある良質な人材の確保・育成

「企業価値の向上」 《具体策》



(1) 新たな事業展開と事業の裾野拡大

ITを活用した新しいバスシステムの構築(1)

< これまでに導入したIT技術 >

- ・ 追突警報装置「トラフィックアイ」
- ・ 「スピード警報装置」
- ・ 「ダイヤシステム」
- ・ 「バス時刻表検索システム」
- ・ GPS搭載による運行情報の提供
「バスナビ」、九州高速バスロケーションシステム「Qバスサーチ」
- ・ オール九州・高速バス予約システム「楽バス」
- ・ 携帯情報サイト「バス停サイト」
- ・ 公共車両優先システム「PTPS()」
- ・ 「LEDデジタル方向幕」
- ・ 「デジタルタコグラフ」 他

Public Transportation Priority Systems

(公共車両が交差点を差し掛かる際に、信号を優先的に「青」に変え、円滑な走行を促すシステム)

「企業価値の向上」 《具体策》



ITを活用した新しいバスシステムの構築(2)

<導入を拡大するIT技術>

- ・「バスナビ」
- ・「LEDデジタル方向幕」
- ・「デジタルタコグラフ」



「LEDデジタル方向幕」

<新たに導入するIT技術>

- ・ ICカード
- ・「ドライブレコーダー」
- ・「FITBUS (Fukuoka Information Technology Bus)」

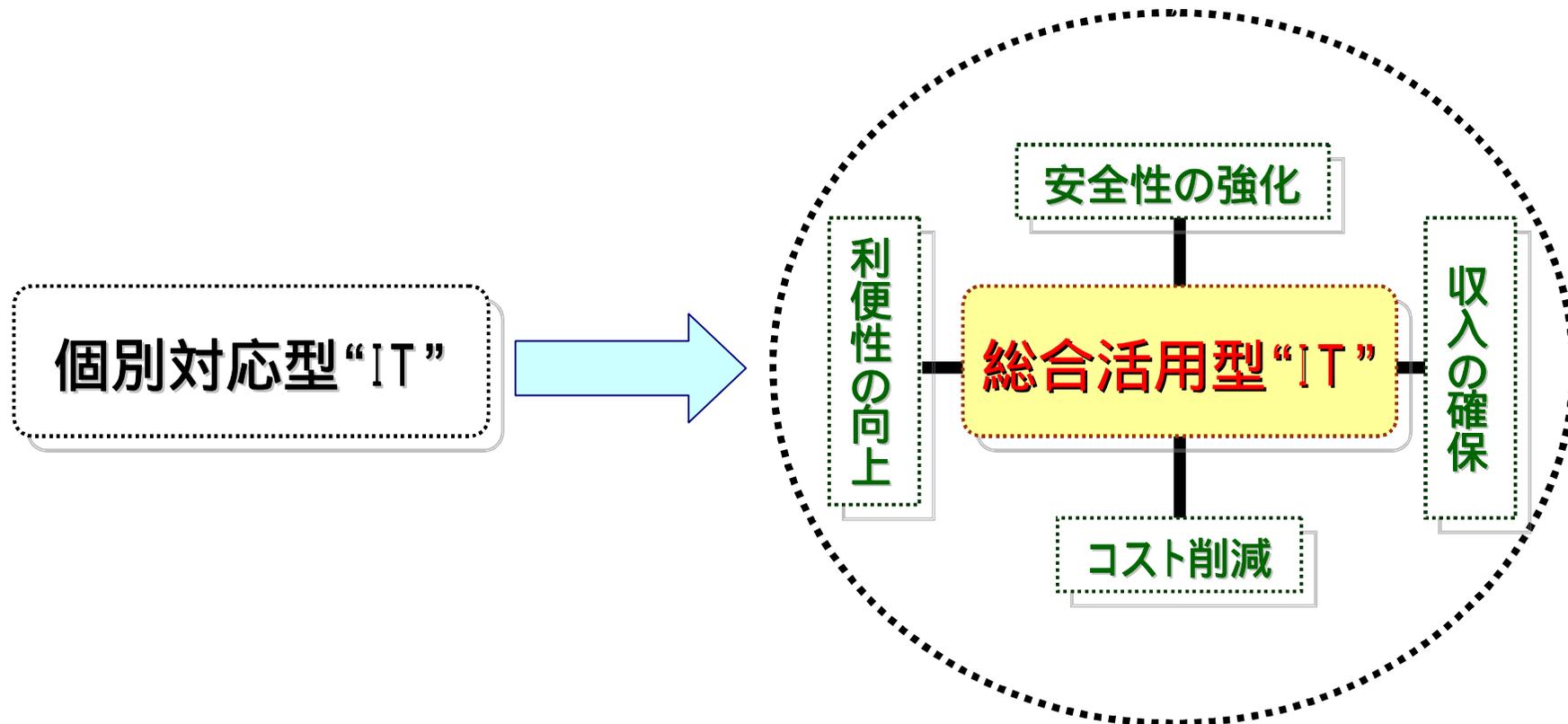


「ドライブレコーダー」

「企業価値の向上」 《具体策》

ITを活用した新しいバスシステムの構築(3)

<IT技術の連携 ~ 個別対応型ITから総合活用型ITバスシステムへ ~ >



「企業価値の向上」 《具体策》



<バス事業の営業利益の見込み>



(収支改善の主な要因)

- ・ ITの活用による輸送人員の維持、運営の効率化
- ・ 若返り等による人件費の減少 等

「企業価値の向上」 《具体策》



鉄道の魅力向上

安全性の強化

地域や事業間の連携による沿線価値の向上

利便性、快適性の向上

- ・ ICカード
- ・ 「新型車両3000形」の投入拡大(32両)
- ・ 最高運転速度の向上(100km/h → 110km/h)
- ・ パーク&ライド、バリアフリー化の推進



新型車両3000形

「企業価値の向上」 《具体策》

ICカードの導入

スケジュール

- ・ 2008年春導入予定

主な機能

- 交通乗車券(スイカ規格を採用)
- 商業利用(電子マネー、クレジット)
- ポイント(商業、交通での相互利用)

その他

- ・ 「魅力向上委員会」による検討



「企業価値の向上」 《具体策》



「複合型施設」の開発推進

交通・商業・住宅等が一体となった「複合型施設」を、年1棟を目標に開発



「ラクレイス西新」：07年2月末竣工



「西鉄千代ビル(仮称)」
住宅棟：16階建(全126戸)、事務所棟：10階建
駐車場棟：6層7段(全327台)
総事業費：約39億円、竣工予定：08年2月

「企業価値の向上」 《具体策》



ビジネスホテルの新規展開

総客室数3,000室体制を目指した店舗展開

- ・ 年1棟を目途とした新たな店舗展開
- ・ 「西鉄イン小倉」の増築
- ・ 既存店舗のリニューアルによる競争力強化



【店舗数及び総客室数】

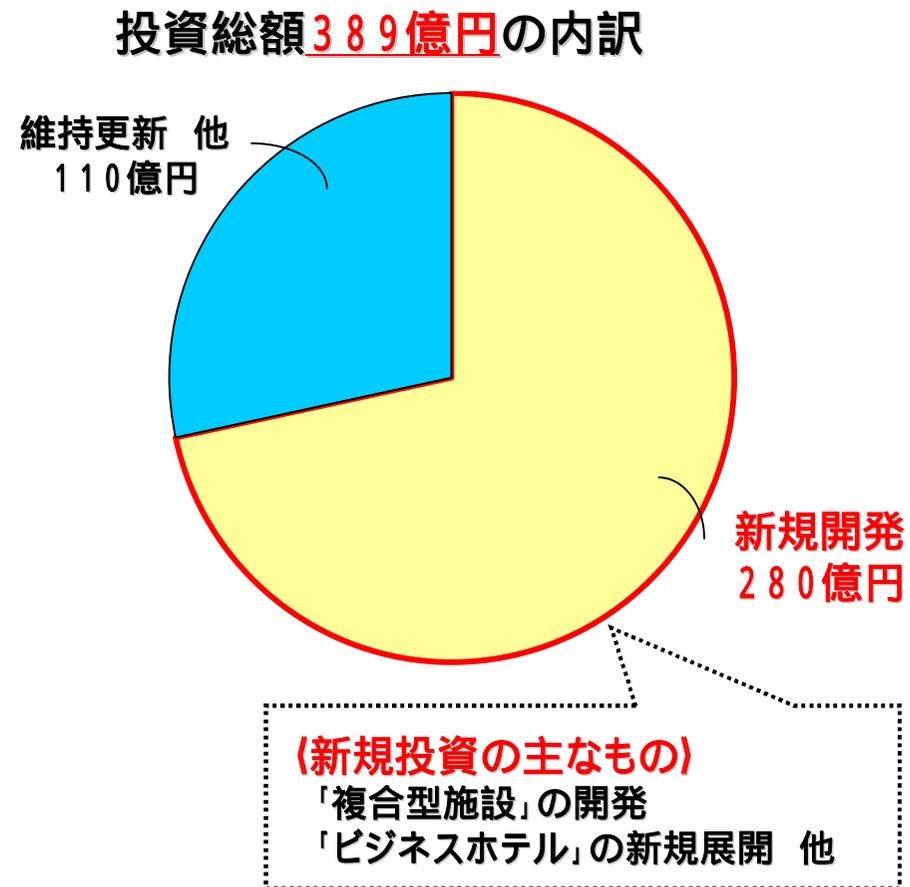
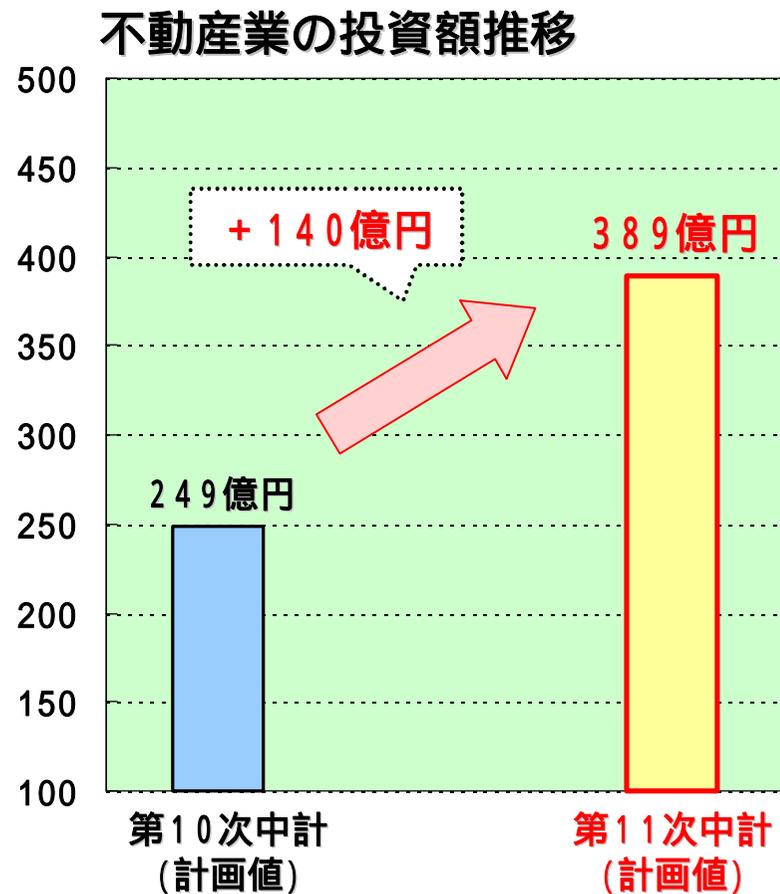
- ・ 全8店舗（07年2月現在）
- ・ 総客室数2,099室

「西鉄イン高知(仮称)」

所在地: 高知市はりまや町
規模: 地上14階建、256室
竣工予定: 08年6月

「企業価値の向上」 《具体策》

< 不動産部門への積極投資による安定収益の拡大 >



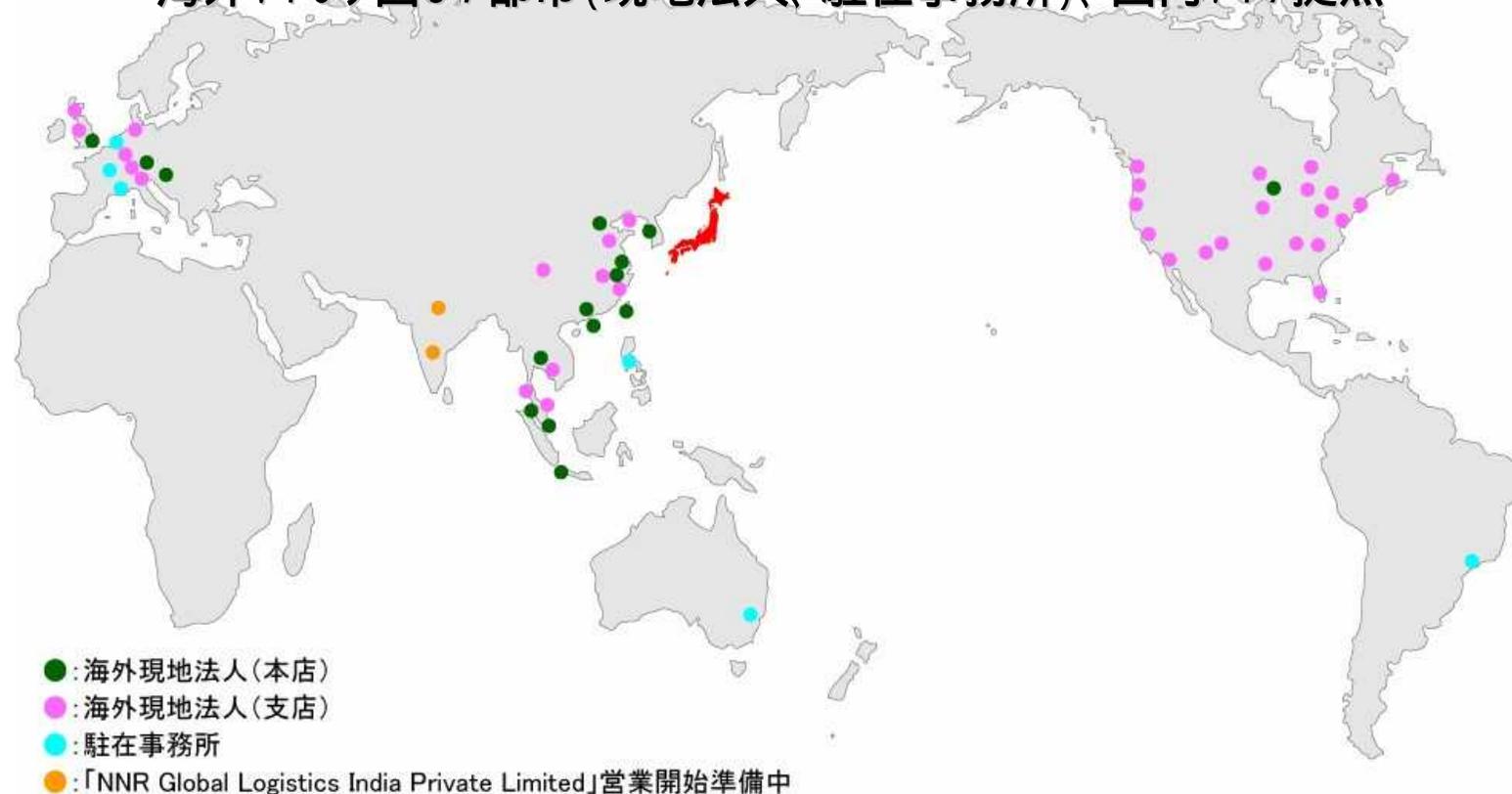
「企業価値の向上」 《具体策》



国際物流事業の拡大(1)

< 国際物流事業; 世界主要各国を網羅する営業、輸送のネットワークを構築 >

海外: 18ヶ国57都市(現地法人、駐在事務所)、国内: 47拠点



「企業価値の向上」 《具体策》



国際物流事業の拡大(2)

海運事業の拡大

- ・ 自社定期混載便の拡充(日本発アジア向け 等)
- ・ 自社通関拠点の拡充(国内:博多、名古屋 他、海外:中国 他)

ロジスティクス事業の強化

- ・ 「VMI()」による在庫管理や通関、輸送業務の拡大
- ・ 「3PL()」と組み合わせた営業、販売の促進、強化
- ・ ロジスティクス倉庫の確保、拡充
(羽田、アメリカ 他)
- ・ 「TAPA認証()」の取得拡大 他

Vendor Managed Inventory

(ベンダー方式の在庫管理方式)

Third Party Logistics

(包括して物流業務を受託する業務)

Transported Asset Protection Association

(運送、保管のセキュリティ向上を目的に、大手ハイク企業を中心となって設立された非営利団体。ここが発行する認証制度)



「企業価値の向上」 《具体策》

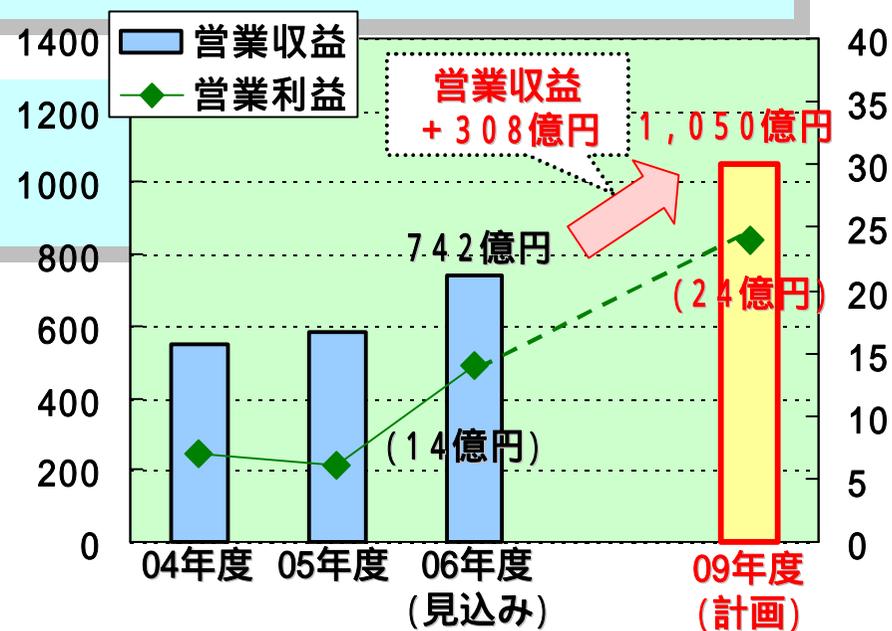


国際物流事業の拡大(3)

国際、国内ネットワークの拡大

- ・ 海外合弁会社の新設(ベトナム 他)及び駐在事務所の開設(東欧 他)
- ・ 九州地区・中部地区等での拠点開設、営業強化

グループ事業の 海外窓口機能の検討



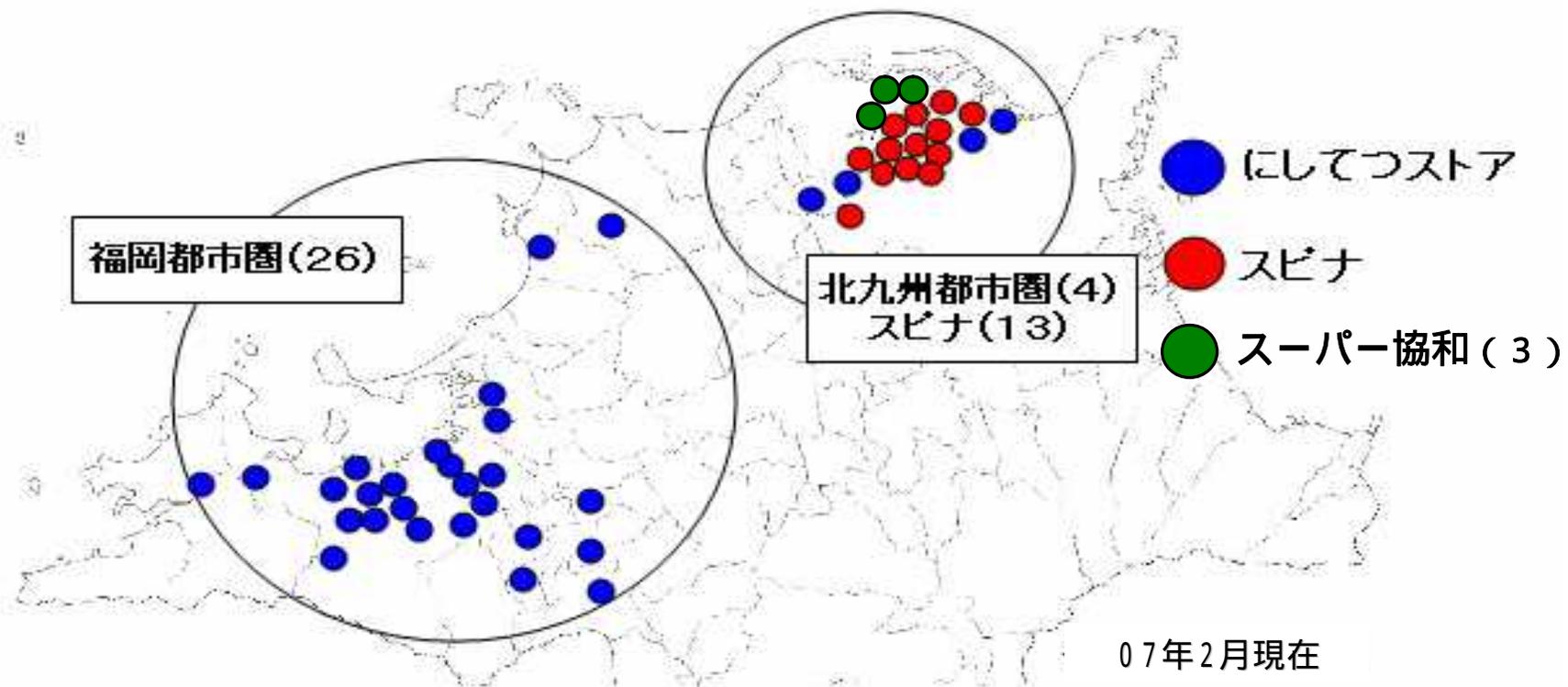
< 航空貨物事業 収支の推移 >

「企業価値の向上」 《具体策》



スーパーマーケットのスクラップ&ビルド、改装の推進(1)

< 「にしてつストア」、「スピナ」の店舗網(全53店舗) >



筑後・佐賀地域、にしてつストア(10)

「企業価値の向上」 《具体策》



スーパーマーケットのスクラップ&ビルド、改装の推進(2)

スクラップ&ビルド、改装の推進

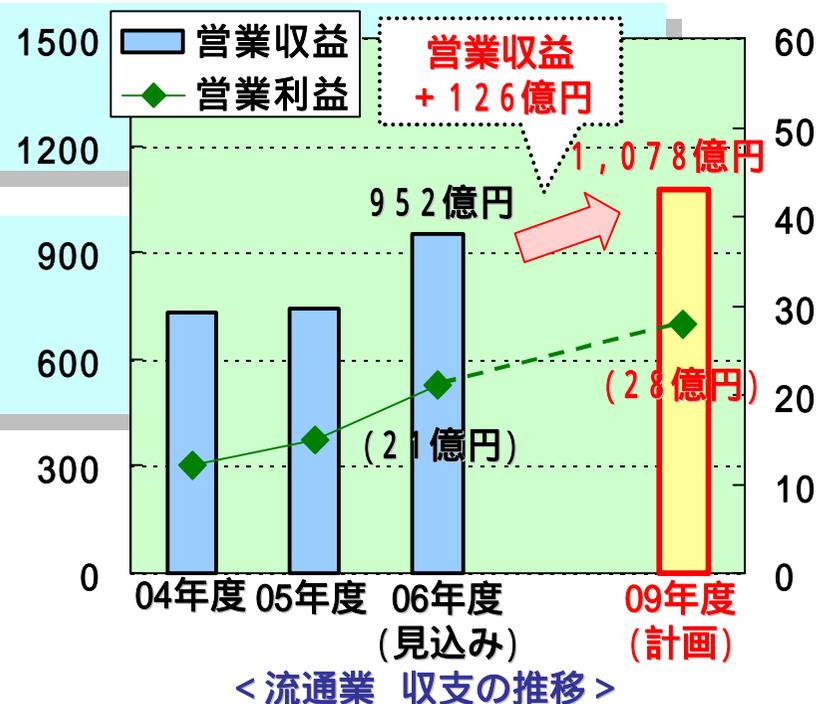
- ・ 年間2～3店舗の新規出店 等

「西鉄ストア」、「スピナ」の連携強化

- ・ ノウハウの共有化、運営の効率化 等

物流センター新設

- ・ 物流拠点の集約によるコスト削減



「企業価値の向上」 《具体策》



- ・ 駅商業の魅力向上、
「複合型施設」の開発推進
 - ・ 駅空間の高度利用 他
-
- ・ 地域連携によるエリア
マネジメントへの積極的参画
 - ・ グループ内横断組織の活動
(天神委員会、西鉄ブランド委員会 等)



「企業価値の向上」 《具体策》



(3) 収益性、資産効率の向上

「グループ資産高度利用委員会」の設置

- ・ グループ保有不動産の活用状況把握と評価
- ・ 資産効率向上策の検討

投資判断基準、撤退基準の明確化

- ・ DCF法による経済性評価(NPV、IRR、回収期間)

IT技術を活用した業務改善、効率化

「企業価値の向上」 《具体策》



(4) 変革力のある良質な人材の確保・育成

ミッションの明確化と組織、個人への浸透

大卒社員採用における「グループ部門採用」枠の導入

「グループ内公募制度」の導入

「海外研修制度」の導入

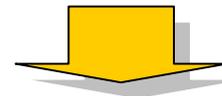
知識、資格、技能のガイドライン導入 他

重点戦略

「地域や社会との共生」



企業理念の実現



<グループビジョン>

「成長に挑戦する西鉄グループ」

(sub vision) ~安全とお客様満足(CS)の向上、企業価値の向上~

~私たち一人ひとりの成長と挑戦により実現を目指します~

安全、信頼の向上

企業価値の向上

地域や社会との共生

「地域や社会との共生」



1、「CSR経営の推進」

内部統制システムの確立・運用
リスク管理計画の実行
環境負荷低減策の実施 等

2、「創立100周年記念事業」

これまでの100年に感謝し未来に向けた
これからの西鉄グループを内外に示す